



■ 出展企業紹介

出 展 企 業 名	株式会社GRA		
年 間 売 上 高	2017年9月末決算 298万円	従 業 員 数 (社員〇名、パート〇名など)	21名
代 表 者 氏 名	岩佐 大輝		
メ ッ セ ー ジ	宮城県山元町では東日本大震災の津波により95%以上のイチゴハウスが流出し雇用が喪失しました。これを踏まえ、町のイチゴ産業の復興と雇用創出のため2012年1月にGRAを設立しました。また農業従事者の高齢化と担い手不足の日本の農業を取り巻く環境を踏まえ、若い層が農業に流入するよう、農業の生産性向上や農業所得改善にも取り組み、IT技術によるベテランの匠の技の横展開や、新たな産地ブランドとしてのミガキイチゴの開発、ミガキイチゴのブランドを付した様々な加工品の商品開発を行っています。		
ホ ー ム ペ ー ジ	<a href="http://gra-inc.jp/">http://gra-inc.jp/</a>		
会 社 所 在 地	〒 989-2201	宮城県亙理郡山元町山寺字桜堤47	
工 場 等 所 在 地	〒 同上	同上	
担 当 者	福島 雅史	E-mail	<a href="mailto:fukushima.masashi@gra-inc.jp">fukushima.masashi@gra-inc.jp</a>
T E L	0223-37-9634	F A X	0223-37-9635

■ 生産・製造工程アピールポイント ※農産物の場合は栽培面積・年間収穫量なども記載

2012年3月に宮城県山元町に、最新IT技術を駆使した国内最大となる最先端園芸施設が建設。2018年6月時点で大型の植物工場7基を敷設。栽培面積は23,000㎡となります。  
また2015年より、新規就農支援事業を本格的に指導し、ミガキイチゴ生産パートナーの栽培するイチゴの栽培面積は、2018年シーズンには23,800㎡となります(宮城県、神奈川県、埼玉県、愛知県)。  
自社生産分、認定パートナーの分を合計すると年間のイチゴ出荷量は250トンとなります。

写 真



■ 品質管理情報

商品検査の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有→具体的に	糖度測定検査の実施			
衛生管理への取組	生産・製造工程の管理	病虫害調査の実施			
	従業員の管理	作業時の手洗い イチゴ選果時の手洗い、アルコール消毒、ヘッドキャップ、マスク着用			
	施設設備の管理	手洗い場の設置			
危機管理体制	担当者連絡先	担当者名または担当部署名	福島 雅史	連絡先	0223-37-9634
	危機管理に関する対応や生産物賠償責任保険(PL保険)の加入など	顧客クレーム、問い合わせ管理体制			

フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)の詳細は <http://www.food-communication-project.jp/> をご覧下さい。